

財務処理は適正か

黒田 政徳 議員

津波被災者等住宅再建支援事業費について、基金があったと思いますが、なぜ基金ではなく一般会計で支出したのですか。

小松 復興企画課長

津波で被災したものと地震で被災したものが、津波で被災したものについては、基金を充当して実施していますが、地震で被災したものについては町単独の補助ということになります。

広報誌の効果向上を

門馬 巧 議員

町の発行する広報は、文字が小さく、町民が読みにくいと思いますがいかがでしょうか。

林 総務課長

読んでいただけるように文字の大きさも考慮しながら工夫して作成していきます。

緊急通報の利用促進を

門馬 巧 議員

緊急通報システムは高齢者の一人暮らしには心強いと思いますが、現在の利用者数、増減の状況はどのようになっていますか。

遠藤 環境防災課長

令和2年3月末の実績で固定電話の方の利用者が14人、携帯電話の方の利用者が35人になっています。増減については若干利用者は増えている状況です。

税の公平性の確保を

黒田 政徳 議員

町税で1163万円の不能欠損が出ています。税の納付は義務ですが、不公平がないように適切に徴収を行うべきですが、不能欠損となった状況はどのようなものですか。

加賀 町民税務課長

ほとんどが時効の完成ということで、町として納付できないということで不能欠損をしています。

弁護士委託料削減の努力を

阿部 憲一 議員

住宅の退去に係る調停の際の弁護士費用が80万円ほどありますが、調停ならば顧問弁護士に話を聞きながら町が自ら手続きを進めることはできませんか。

林 総務課長

手順や方法が確立された後には、委託をせずに進められるようにしたいと思います。

こんなことが決まりました 基金条例を廃止

平成28年度に特定寄付金を財源として基金を整備し、町民等の医療環境の向上に資する事業として広野町救急患者受入支援事業等補助金に基金を充当してきました。

令和元年度は基金の全額を取り崩し、一般財源を投入して事業を実施しました。

基金の全額を取り崩したことにより基金条例は廃止になりますが、令和2年度も一般財源800万円の予算で広野町救急患者受入支援事業等補助金は継続します。

再度資金を確保できないか

門馬 巧 議員

双葉郡内の近隣町村から搬送されてくる患者の受け入れにも、町の一般財源が使われていることを考えると不公平ではありませんか。基金を創設した際のクラウドファンディングをもつ一度実施することはできませんか。

遠藤 町長

町の取り組みに対してクラウドファンディングの活用は難しいことを確認しています。双葉郡内の医療機関の再開に向けて国や県と協議して取り組んでいきます。

基金の管理は適正に

黒田 政徳 議員

平成29年度の事業費が1326万円に対して基金の取り崩し額は1740万円。基金は目的をもって使うお金ですが、この差額は何に使ったのですか。

佐藤 健康福祉課長

病院等の請求を3月末までにはいただいたのですが、3月までに基金会計は閉鎖する必要があり、多めの取り崩しとなってしまいました。本来であれば、事業額の確定後に基金取り崩し額を精査すべきでしたが、概算での計算を過大な金額で見積もってしまったために取り崩し額が多くなっています。

人事案件

教育委員会委員

教育委員会委員に根本 良政氏を任命することに同意しました。任期は、令和2年10月15日から4年間です。



根本 良政 氏 (上北迫)



緊急通報システム